

正誤表（達成状況評価）

58：神戸大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p.3	(当該頁3つ目の○) ○ 先端膜工学研究センターにおいて、旭化成株式会社や川崎 <u>重工</u> 株式会社等・・・	(当該頁3つ目の○) ○ 先端膜工学研究センターにおいて、旭化成株式会社や川崎 <u>重工業</u> 株式会社等・・・	「川崎重工株式会社」を「川崎重工業株式会社」に修正。
02	p.3	(当該頁5つ目の○) ○ EU における中・東欧の・・・ <u>ブタ</u> ペスト)、ヤゲウォ大学・・・	(当該頁5つ目の○) ○ EU における中・東欧の・・・ <u>ブダ</u> ペスト)、ヤゲウォ大学・・・	「ブタペスト」を「ブダペスト」に修正。
03	p.20	(4行目) ・・・これらの「海洋リテラシー科目」の授業振り返りアンケート結果においては、 <u>7科目全てで</u> 「よく理解できたと思う・どちらかと言えばそう思う」という回答が8割以上となっており、・・・	(4行目) ・・・これらの「海洋リテラシー科目」の授業振り返りアンケート結果においては、「よく理解できたと思う・どちらかと言えばそう思う」という回答が8割以上となっており、・・・	不要な説明が入っていたため削除。
04	p.27	(本文3～4行目) ・・・課題レポートによる教科指導、オンラインによる <u>スクリーニング</u> や交流会を行った。	(本文3～4行目) ・・・課題レポートによる教科指導、オンラインによる <u>スクーリング</u> や交流会を行った。	「スクリーニング」を「スクーリング」に修正。
05	p.29	(本文13行目) 平成 <u>39</u> 年度志願者倍率 前期 2.9 倍、後期 10.4 倍（2位）	(本文13行目) 平成 <u>29</u> 年度志願者倍率 前期 2.9 倍、後期 10.4 倍（2位）	平成「39」年度を平成「29」年度に修正。

正誤表（達成状況評価）

06	p.54	(下から4行目) ・・・このように、コロナ禍の中でも工夫により海外大学との教育連携 <u>の</u> 強化し、国際交流の可能性を示すことができた。	(下から4行目) ・・・このように、コロナ禍の中でも工夫により海外大学との教育連携 <u>を</u> 強化し、国際交流の可能性を示すことができた。	「の」は「を」の誤りのため修正。
----	------	--	--	------------------